



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月26日

上場会社名 株式会社三菱総合研究所
 コード番号 3636 URL <http://www.mri.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 京太

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 河内 裕

TEL 03-6705-6001

四半期報告書提出予定日 平成25年5月8日 配当支払開始予定日 平成25年6月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	37,898	3.6	2,891	51.6	2,970	51.3	1,550	127.1
24年9月期第2四半期	36,569	3.4	1,906	△4.2	1,962	△11.8	682	△31.9

(注)包括利益 25年9月期第2四半期 2,523百万円 (140.9%) 24年9月期第2四半期 1,047百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	94.41	—
24年9月期第2四半期	41.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	63,108		38,760			52.1
24年9月期	56,088		36,458			55.1

(参考)自己資本 25年9月期第2四半期 32,861百万円 24年9月期 30,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年9月期	—	15.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	6.1	4,500	45.6	4,660	42.9	2,370	107.8	144.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	16,424,080 株	24年9月期	16,424,080 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	114 株	24年9月期	87 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	16,423,980 株	24年9月期2Q	16,423,993 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従って、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

(参考)

平成25年9月期の個別業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	6.6	2,450	17.4	1,587	56.2	96.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
(7) 四半期連結貸借対照表関係に関する注記	12
(8) 四半期連結損益計算書関係に関する注記	12
(9) 四半期キャッシュ・フロー計算書関係に関する注記	12
(10) 株主資本等関係に関する注記	13
(11) 1株当たり情報に関する注記	13
4. 補足情報	14
受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年10月1日～平成25年3月31日)では、緩やかながら海外・国内とも総じて経済情勢の改善が進みました。各国の情勢にばらつきはありますが、中国をはじめとして新興国全体では景気回復の動きがみられました。また、米国経済も、消費や住宅投資が堅調に推移し、緩やかな回復基調を維持しました。一方、欧州では、多くの国で緊縮財政が続くなか、経済の停滞が続きました。

わが国経済は、平成24年中は外需の悪化により低調に推移しましたが、年明け以降は、海外経済情勢の改善を受けて、輸出や生産が持ち直しに転じたほか、新政権の経済政策に対する期待から円安と株高が進行するなか、消費も底堅く推移しました。

このような環境下、当社グループは、品質と顧客満足度の向上を最優先する姿勢を堅持しつつ「Think & Act Tank」への発展を目指し、シンクタンクとして培った科学的手法を最大限に活かした事業展開を進めました。特に、放射性物質の除染を含む震災復興支援に積極的に取り組むとともに、今後の社会の枠組みの創出や、民間企業の新事業開発・業務革新にかかるコンサルティング、金融機関向けのシステム構築などを推進いたしました。

こうした結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は37,898百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は2,891百万円(同51.6%増)、経常利益は2,970百万円(同51.3%増)、四半期純利益は1,550百万円(同127.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(シンクタンク・コンサルティング事業)

当第2四半期連結累計期間は、官公庁向けではサイバーセキュリティやエネルギー関連の調査・コンサルティング業務、放射性物質の除染関連を始めとする政策支援案件、民間向けでは金融機関向けの業務効率化、海外進出に関するコンサルティング案件などが売上に貢献いたしました。しかしながら、官公庁案件で売上計上時期が4月以降に繰り下がるものが増加したことなどから、売上高(外部売上高)は7,212百万円(同14.3%減)にとどまりました。この売上高の減少を映じて、営業利益は869百万円(同13.9%減)と前年同期に比べ減少となりました。

(ITソリューション事業)

当第2四半期連結累計期間は、金融機関向けの基幹システム・リスク関連システム案件、カード入会審査システム案件、顧客データ分析案件、官公庁向けの業務システム構築の工程管理案件などが売上に貢献し、売上高(外部売上高)は30,686百万円(同9.0%増)となりました。また、売上高の増加に加え、品質改善にかかる費用が前年同期に比べ大きく減少した結果、営業利益は2,099百万円(同130.5%増)と格段の改善をみることができました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて7,020百万円増加し、63,108百万円(前年度末比12.5%増)となりました。内訳としては、流動資産が39,547百万円(同14.5%増)、固定資産が23,561百万円(同9.4%増)となりました。流動資産は、季節変動により受取手形及び売掛金が5,764百万円、たな卸資産が5,422百万円増加する一方、短期資金運用のための有価証券が償還により5,200百万円減少しております。

負債は、前連結会計年度末と比べて4,717百万円増加し、24,348百万円(同24.0%増)となりました。これは季節要因による買掛金の増加3,800百万円などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて2,302百万円増加し、38,760百万円(同6.3%増)となりました。

②キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ4,039百万円減少し、9,618百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,162百万円の支出(前年同四半期は1,951百万円の支出)となりました。これは主に、季節要因による売上債権の増加5,764百万円、たな卸資産の増加5,417百万円、仕入債務の増加3,800百万円などによるものです。なお、当社グループは3月から4月にかけて完了するプロジェクトが多いことから、第2四半期連結累計期間までは支出が先行し営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスになる傾向があります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、201百万円の収入(前年同四半期は193百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、81百万円の支出(前年同四半期は237百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、シンクタンク・コンサルティング事業は、一部案件の売上計上時期の繰り下がりなどから、売上高、営業利益とも前年同期に比べて減少しましたが、ITソリューション事業の好調、ならびに品質改善にかかる費用の減少がこれをカバーし、連結営業成績は、増収、増益となりました。

これを受け、平成24年11月2日に公表いたしました平成25年9月期通期連結業績予想及び平成25年9月期通期個別業績予想を、下表の通り修正いたします。

平成25年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株あたり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,500	4,000	4,100	2,160	131.51
今回発表予想 (B)	80,000	4,500	4,660	2,370	144.30
増減額 (B-A)	1,500	500	560	210	—
増減率 (%)	1.9	12.5	13.7	9.7	—
(ご参考)前期連結実績 平成24年9月期	75,365	3,091	3,262	1,140	69.45

平成25年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	2,301	1,474	89.75
今回発表予想 (B)	30,500	2,450	1,587	96.63
増減額 (B-A)	500	149	113	—
増減率 (%)	1.7	6.5	7.7	—
(ご参考)前期連結実績 平成24年9月期	28,602	2,087	1,016	61.88

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従って、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,658	9,618
受取手形及び売掛金	10,893	16,657
有価証券	5,200	—
たな卸資産	※1 4,966	※1 10,388
繰延税金資産	1,692	1,736
その他	1,142	1,168
貸倒引当金	△11	△22
流動資産合計	34,541	39,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,977	5,625
機械装置及び運搬具（純額）	2	2
工具、器具及び備品（純額）	1,207	1,253
土地	887	720
リース資産（純額）	836	758
建設仮勘定	—	1,095
有形固定資産合計	8,912	9,456
無形固定資産		
ソフトウェア	1,984	2,079
その他	1,188	1,598
無形固定資産合計	3,173	3,678
投資その他の資産		
その他	9,467	10,432
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	9,461	10,427
固定資産合計	21,546	23,561
資産合計	56,088	63,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,209	7,010
短期借入金	—	300
未払金	1,198	1,424
未払費用	2,008	2,000
未払法人税等	1,054	1,324
賞与引当金	1,698	1,931
受注損失引当金	193	138
その他	2,174	2,142
流動負債合計	11,537	16,272
固定負債		
退職給付引当金	7,401	7,552
その他	691	522
固定負債合計	8,092	8,075
負債合計	19,630	24,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,336	6,336
資本剰余金	4,851	4,851
利益剰余金	19,278	20,616
自己株式	△0	△0
株主資本合計	30,465	31,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450	1,055
為替換算調整勘定	—	2
その他の包括利益累計額合計	450	1,058
少数株主持分	5,541	5,899
純資産合計	36,458	38,760
負債純資産合計	56,088	63,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	36,569	37,898
売上原価	28,882	29,274
売上総利益	7,686	8,623
販売費及び一般管理費	※ 5,780	※ 5,732
営業利益	1,906	2,891
営業外収益		
受取利息	9	2
受取配当金	14	22
持分法による投資利益	25	39
その他	18	21
営業外収益合計	68	86
営業外費用		
支払利息	6	5
投資事業組合運用損	1	2
賃貸費用	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	12	7
経常利益	1,962	2,970
特別利益		
固定資産売却益	—	15
投資有価証券売却益	—	14
その他	—	0
特別利益合計	—	30
特別損失		
固定資産除却損	21	6
投資有価証券評価損	62	—
事務所移転費用	111	—
損害賠償金等	46	3
その他	1	1
特別損失合計	243	11
税金等調整前四半期純利益	1,718	2,989
法人税等	968	1,193
少数株主損益調整前四半期純利益	750	1,795
少数株主利益	67	244
四半期純利益	682	1,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	750	1,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	299	720
為替換算調整勘定	—	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	4
その他の包括利益合計	297	727
四半期包括利益	1,047	2,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	943	2,157
少数株主に係る四半期包括利益	103	365

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,718	2,989
減価償却費	996	1,046
のれん償却額	46	46
賞与引当金の増減額 (△は減少)	111	233
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	225	151
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	9
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△52	△54
受取利息及び受取配当金	△24	△24
支払利息	6	5
持分法による投資損益 (△は益)	△25	△39
固定資産売却損益 (△は益)	—	△15
固定資産除却損	21	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△14
投資有価証券評価損益 (△は益)	62	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,603	△5,764
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,670	△5,417
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,260	3,800
その他	1,290	△166
小計	△1,617	△3,208
利息及び配当金の受取額	33	38
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△361	△986
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,951	△4,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	992	2,205
有形固定資産の取得による支出	△521	△1,337
有形固定資産の売却による収入	1	238
無形固定資産の取得による支出	△671	△925
投資有価証券の取得による支出	△1	△3
投資有価証券の売却による収入	—	19
貸付けによる支出	△2	△0
貸付金の回収による収入	3	2
敷金及び保証金の差入による支出	△8	△10
敷金及び保証金の回収による収入	16	6
その他	△1	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193	201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	700	300
リース債務の返済による支出	△159	△122
配当金の支払額	△246	△246
少数株主への配当金の支払額	△26	△7
その他	△29	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	237	△81
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,907	△4,039
現金及び現金同等物の期首残高	13,496	13,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 11,589	※ 9,618

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・コ ンサルティング 事業	ITソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,419	28,150	36,569	—	36,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	462	277	740	(740)	—
計	8,882	28,428	37,310	(740)	36,569
セグメント利益	1,009	910	1,920	(13)	1,906

(注) 1. セグメント利益の調整額△13百万円には、セグメント間取引消去6百万円、たな卸資産の調整額△6百万円及び固定資産の調整額△13百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・コ ンサルティング 事業	ITソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,212	30,686	37,898	—	37,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	226	1,014	1,241	(1,241)	—
計	7,438	31,701	39,139	(1,241)	37,898
セグメント利益	869	2,099	2,968	(77)	2,891

(注) 1. セグメント利益の調整額△77百万円には、セグメント間取引消去△23百万円、たな卸資産の調整額△20百万円及び固定資産の調整額△33百万円の調整額が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

(7) 四半期連結貸借対照表関係に関する注記

※1. たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
商品及び製品	58百万円	144百万円
仕掛品	4,882	10,222
原材料及び貯蔵品	25	22

2. 偶発債務

債務保証

次の保証先について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
従業員（住宅資金等借入債務）	12百万円	従業員（住宅資金等借入債務） 12百万円

(8) 四半期連結損益計算書関係に関する注記

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
役員報酬	447百万円	388百万円
賞与	164	277
賞与引当金繰入額	372	380
給与手当	2,003	1,972
退職給付費用	102	133
業務委託費	252	418
賃借料	710	571
貸倒引当金繰入額	19	9

(9) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係に関する注記

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
現金及び預金勘定	11,589百万円	9,618百万円
現金及び現金同等物	11,589	9,618

(10) 株主資本等関係に関する注記

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月20日 定時株主総会	普通株式	246	15.0	平成23年9月30日	平成23年12月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月27日 取締役会	普通株式	246	15.0	平成24年3月31日	平成24年6月5日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月19日 定時株主総会	普通株式	246	15.0	平成24年9月30日	平成24年12月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月26日 取締役会	普通株式	246	15.0	平成25年3月31日	平成25年6月4日	利益剰余金

(11) 1株当たり情報に関する注記

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	41円57銭	94円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	682	1,550
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	682	1,550
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,423	16,423

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 補足情報

受注および販売の状況

(1) 受注状況

受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティング事業	9,416	△15.4	17,486	8.9
ITソリューション事業	30,243	3.9	40,621	9.9
ITコンサルティング・システム開発	21,285	5.5	23,614	16.6
アウトソーシングサービス	8,958	0.2	17,007	1.8
合計	39,659	△1.4	58,108	9.6

(注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 継続的に役務提供を行い実績に応じて料金を受領するサービスにつきましては、当第2四半期連結会計期間
末後1年間の売上見込みを受注残高に計上しております。

(2) 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティング事業 (百万円)	7,212	△14.3
ITソリューション事業 (百万円)	30,686	9.0
ITコンサルティング・システム開発 (百万円)	21,653	14.7
アウトソーシングサービス (百万円)	9,032	△2.5
合計 (百万円)	37,898	3.6

(注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。